

若者の視点からの民間スポーツクラブに対する集客企画の提案



#コロナ禍 #健康 #スポーツ産業

目的

コロナ禍によって活動を阻害されてきた身体活動のうちスポーツクラブ事業に焦点を当て、若者の視点からその再活性化を提案する



活動の概要

- 主な連携先
株式会社関西テレビライフ / 阪急阪神不動産株式会社
- 活動地域
大阪府北部
- 活動期間
2022年～継続中
- 活動資金
なし

連携にいたる経緯

スポーツクラブ事業に対するコロナ禍の影響への対策を検討されていた関西テレビライフと、スポーツ振興の現場での学修経験を求めている人間健康学部西山ゼミが、阪急阪神不動産株式会社による仲介のおかげで出会い、活動が開始された。



活動内容

民間スポーツクラブは、数年前からのコロナ禍によって利用客が急減するなどの被害を受けてきた。その一方で、同じコロナ禍によって人々の健康意識は以前より高まりを見せている。この「ねじれ」現象をポジティブに解消すべく、大阪府茨木市にある関西テレビライフ傘下のスポーツクラブを対象に、既存の常識にとらわれない若者の視点から学生による集客企画を提案した。

具体的には、2022年2月から準備を始め、同年4月以降に学生による施設見学と参与観察、アンケート調査などを行い、その成果を7月と12月に発表した。その提案の一部は対象クラブによって既に採用されている。

活動の成果

- ▶ インターネットとスマートフォンが織りなす情報環境に慣れた学生の視点から広告宣伝活動に関するアドバイスをし、その一部が採用された
- ▶ 従来、スポーツクラブで行われる活動ではなかったイベントやゲームについて、若者にとっての魅力の説明したうえで、集客案として提案を行った
- ▶ スポーツクラブ以外の他業種との協同について、既存の試みを参考に、スポーツクラブの魅力を増強するものとして提案した

今後の課題・目標・展開の可能性

- ▶ 民間スポーツクラブの事業がコロナ禍から回復基調にあるなかで、その社会的価値を高めるために、さらなる集客企画や活動企画を考えたい
- ▶ スポーツクラブ事業の枠を超え、文化振興や社会貢献といった方面にもスポーツ活動を拡大、発展するための方策を学生たちと検討したい

連携先からの一言

学生の皆さんが熱心、真剣に考え、行動されたことに感銘を受けました。最終発表会には社長以下、全事業所の支配人が出席させていただきました。たいへん参考になる提言も多く、早速採用させていただいたものもあります。可能であれば、来年度以降もプロジェクトを継続していただきたく考えているところです。

(株式会社関西テレビライフ
代表取締役社長)

人間健康学部 教授 西山 哲郎 Nishiyama Tetsuo



社会学をベースに、スポーツを含んだ身体活動を文化現象として捉え、それらに対する人々の感じ方や価値観の変動について研究している。

